



## 平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年7月28日

上場会社名 株式会社enish 上場取引所 東  
 コード番号 3667 URL http://www.enish.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安徳 孝平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 高木 和成 TEL 03(6447)4020  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第2四半期の業績（平成28年1月1日～平成28年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	2,508	△12.9	△158	-	△166	-	△238	-
27年12月期第2四半期	2,880	△11.5	△627	-	△630	-	△1,050	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	△32.65	-
27年12月期第2四半期	△151.35	-

(注) 平成27年12月期第2四半期及び平成28年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第2四半期	2,301	1,788	77.6	229.11
27年12月期	2,253	1,619	71.6	224.35

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 1,787百万円 27年12月期 1,612百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
28年12月期	-	0.00	-	-	-
28年12月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成28年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

### 3. 平成28年12月期の業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

平成28年12月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算出ができないことから記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期 2 Q	7,800,800株	27年12月期	7,187,880株
② 期末自己株式数	28年12月期 2 Q	-株	27年12月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期 2 Q	7,293,924株	27年12月期 2 Q	6,939,795株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成28年7月29日（金）に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、年明けからの円高・株安を受け足踏みが長期化しておりますが、公共投資の進捗の支えや消費税増税延期を背景に緩やかな持ち直しが期待されます。

当社の事業領域である、モバイルゲーム事業を取り巻く環境につきましては、引き続きスマートフォンの契約数は順調に推移しており、また国内モバイルゲーム市場においても成長率の鈍化はみられるものの、ネイティブアプリケーション（注）を中心に今後も拡大していく見通しであります。

このような事業環境の中、当社では当第2四半期累計期間においては、既存タイトルに関しては、機能追加及び運営品質の改善を行い、引き続き売上収益に貢献しております。新規タイトルにつきましては、平成28年1月に、リリースいたしました「12オーディンズ」の売上高が好調に推移しており、さらに運営体制を強化していくことで今後の収益寄与が期待されます。

足元の状況としましては、平成28年7月に、株式会社バンダイナムコエンターテインメントが配信を開始した「仮面ライダー バトルラッシュ」にて開発協力を行っております。当事業年度においては、引き続き厳選したタイトル数でクオリティの高いネイティブアプリケーションの開発・サービスの提供を行ってまいります。

また、前事業年度に実施した、海外拠点の整理・縮小、人員数の最適化、不採算が見込まれるタイトルの譲渡、凍結を実施する等のコスト管理施策の効果があらわれ、積極的なプロモーションを実施しているなかでも、前事業年度と比較しても利益水準が改善しております。当事業年度においても引き続きコスト管理を厳密に行ってまいります。

尚、コスト管理施策として本社の賃貸借契約を一部解約し、減損損失の計上を行っております。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は2,508百万円（前年同四半期比12.9%の減少）、営業損失は158百万円、経常損失は166百万円、四半期純損失は238百万円となっております。

（注）ネイティブアプリケーションとは、特定のコンピューターの機種やOS上で直接実行可能なプログラムで構成されたアプリケーションソフトウェアのことをいいます。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第2四半期会計期間末の流動資産につきましては、前事業年度末に比べて165百万円増加し、1,876百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加（前事業年度末比283百万円の増加）があった一方で、売掛金の減少（前事業年度末比63百万円の減少）及び法人税等の還付による流動資産のその他の減少（前事業年度末比53百万円の減少）によるものであります。固定資産につきましては、前事業年度末に比べて117百万円減少し、425百万円となりました。これは主に、本社の賃貸借契約を一部解約したことによる有形固定資産の減少（前事業年度末比84百万円の減少）、関係会社貸付金回収等による投資その他の資産の減少（前事業年度末比28百万円の減少）によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ48百万円増加し、2,301百万円となりました。

##### （負債）

当第2四半期会計期間末の流動負債につきましては、前事業年度末に比べて121百万円減少し、447百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少（前事業年度末比131百万円の減少）によるものであります。固定負債につきましては、66百万円となりました。これは、資産除去債務の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ120百万円減少し、513百万円となりました。

##### （純資産）

当第2四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて168百万円増加し、1,788百万円となりました。これは主に、新株予約権行使による資本金及び資本剰余金の増加（前事業年度末比412百万円増加）があった一方で、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少（前事業年度末比238百万円の減少）によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、1,129百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動により使用した資金は、6百万円となりました。これは主に、税引前四半期純損失236百万円の計上があった一方で、減損損失70百万円、売上債権の減少63百万円、未払金の増加74百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動により使用した資金は、84百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出100百万円、関係会社貸付けによる支出15百万円があった一方で、関係会社貸付金の回収による収入39百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動により獲得した資金は、274百万円となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入405百万円があった一方で、短期借入金の減少131百万円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期につきましては、引き続き既存ブラウザタイトルの売上減少の制御を行い、安定した収益基盤の構築を努めるとともに、クオリティの高い新規ネイティブアプリケーションの開発を行ってまいります。

従前、通期の業績予想を開示しておりましたが、モバイルゲーム市場を取り巻く環境の変化が激しく、当社の事業も短期間に大きく変動する可能性があること等から、信頼性の高い通期の業績予想数値を算出することが困難となっているため、決算業績及び事業の概況の速やかな開示に務め、業績予想につきましては開示を見合わせます。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	946,537	1,229,660
売掛金	588,126	524,374
その他	176,083	122,232
流動資産合計	1,710,748	1,876,266
固定資産		
有形固定資産	194,670	110,197
無形固定資産	20,946	17,048
投資その他の資産		
敷金及び保証金	278,014	288,117
その他	79,090	55,090
貸倒引当金	△30,000	△45,000
投資その他の資産合計	327,104	298,207
固定資産合計	542,721	425,453
資産合計	2,253,470	2,301,720
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	106,344	87,443
短期借入金	298,000	166,600
その他	164,076	193,341
流動負債合計	568,420	447,384
固定負債		
資産除去債務	65,628	66,001
固定負債合計	65,628	66,001
負債合計	634,049	513,385
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	962,897	1,169,245
資本剰余金	961,897	1,168,245
利益剰余金	△312,164	△550,274
株主資本合計	1,612,630	1,787,216
新株予約権	6,790	1,117
純資産合計	1,619,420	1,788,334
負債純資産合計	2,253,470	2,301,720

( 2 ) 四半期損益計算書  
( 第 2 四半期累計期間 )

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期累計期間 ( 自 平成27年 1 月 1 日 至 平成27年 6 月 30 日 )	当第 2 四半期累計期間 ( 自 平成28年 1 月 1 日 至 平成28年 6 月 30 日 )
売上高	2,880,655	2,508,773
売上原価	2,882,659	2,185,216
売上総利益又は売上総損失 ( △ )	△2,003	323,556
販売費及び一般管理費	625,075	482,273
営業損失 ( △ )	△627,079	△158,716
営業外収益		
受取利息	131	103
事業譲渡益	-	8,280
その他	1,668	2,911
営業外収益合計	1,799	11,295
営業外費用		
支払利息	654	1,380
貸倒引当金繰入額	-	15,000
その他	4,933	2,791
営業外費用合計	5,587	19,172
経常損失 ( △ )	△630,868	△166,593
特別損失		
減損損失	8,640	70,371
関係会社株式評価損	10,089	-
事業整理損	141,264	-
特別損失合計	159,994	70,371
税引前四半期純損失 ( △ )	△790,863	△236,965
法人税、住民税及び事業税	1,145	1,145
法人税等調整額	258,322	-
法人税等合計	259,467	1,145
四半期純損失 ( △ )	△1,050,331	△238,110

( 3 ) 四半期キャッシュ・フロー計算書

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成27年 1 月 1 日 至 平成27年 6 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成28年 1 月 1 日 至 平成28年 6 月 30 日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失 (△)	△790,863	△236,965
減価償却費	24,613	20,683
減損損失	8,640	70,371
受取利息及び受取配当金	△131	△103
支払利息	654	1,380
為替差損益 (△は益)	△1,181	-
売上債権の増減額 (△は増加)	145,293	63,752
仕入債務の増減額 (△は減少)	71,028	△18,900
関係会社株式評価損	10,089	-
事業整理損	141,264	-
未払金の増減額 (△は減少)	△140,650	74,716
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	15,000
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△40,726	8,648
その他の資産の増減額 (△は増加)	50,673	2,470
その他の負債の増減額 (△は減少)	△40,848	△54,621
小計	△562,141	△53,566
利息及び配当金の受取額	131	△483
利息の支払額	△4,328	△925
法人税等の支払額	△8,352	△1,145
法人税等の還付額	148,140	50,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	△426,549	△6,077
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△5,756	△2,684
無形固定資産の取得による支出	△5,686	-
関係会社貸付けによる支出	-	△15,000
長期貸付金の回収による収入	-	39,000
敷金及び保証金の差入による支出	△1,122	△9,500
敷金及び保証金の回収による収入	-	3,284
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,565	△84,899
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000	△131,400
新株予約権の発行による収入	1,160	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	203	405,580
配当金の支払額	-	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー	301,363	274,099
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△137,751	183,122
現金及び現金同等物の期首残高	1,328,908	946,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,191,156	1,129,660

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期累計期間において、新株予約権の行使請求に伴い新株式612,920株の発行を行いました。この結果、当第2四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ206,348千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が1,169,245千円、資本準備金が1,168,245千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、モバイルゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。